

手をたずさえて

“小原田PRIDE”～自信と誇り

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



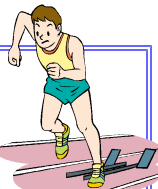
令和3年7月9日（金）発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

県陸上大会第8位入賞! 3年女子100m古川さん

7月5日（月）から3日間にわたって開成山陸上競技場で行われた福島県中学校体育大会陸上競技において、3年女子100mに出場した古川明花さんが見事第8位入賞を果たしました。5日の予選、6日の準決勝、7日の決勝と3日間戦い続けての誇り高さ入賞です。記録も5月の市大会での13秒84から、今回予選で出した13秒39と自己ベスト記録を伸ばしながらの県大会での走りでした。また、1・2年男子及び共通女子リレー競技に出場した生徒達も強い雨が降る中でのレースでしたが、最後までバトンをつなぎ走り抜きました。県大会という大舞台での経験は自分達のこれからに生かすことのできる貴重なものになったと思います。特設陸上部員の頑張りに拍手をおくります。出場メンバーと入賞を果たした古川さんのコメントです。

出場メンバー

- 1年：津守隆成、氏家悠希、佐藤潤実、
2年：本田有摩、前野優稀斗、渡辺宇宙
3年：上野彩美、柄澤恵恋、伊東さくら
夏井明日菜、古川明花



力走する古川さんとサポートしてくれた夏井さん



1・2年男子リレー



共通女子リレー

今まで私は、市陸上大会で上位を目指すことが大きな目標でした。そして、市の大会では3位となり、結果に満足していました。しかし、今回県大会に出場することが決まり、もっと上を目指そうという気持ちに変わっていました。大会では、予選、準決勝、決勝と最後まで進むことができ、8位という結果に悔しい部分もありますが、陸上を続けていて本当によかったと思いました。そして、続けることの大切さを実感することができました。最後に、県大会の決勝まで進めたのは、周りの人たちの助けや応援があったからだと思います。周りの人たちへの感謝の気持ちは、結果で返すことができたのでよかったです。

“宝さがしの冒険”を見事に表現…「銀賞」獲得!

7月2日（金）白河文化交流館コミネスで開催された吹奏楽コンクール第39回県南支部大会において、本校吹奏楽部は「銀賞」を獲得しました。目標としていた「金賞」にはもう少しのところで届きませんでしたが、堂々とした演奏を披露してくれました。“宝さがしの冒険”という壮大なスケールを見事に表現することができました。厳しい練習を積み重ね、確実に力を付けてきた吹奏楽部です。これからの演奏に期待したいと思います。

演奏メンバー

- 1年：伊東晴渡
2年：江川実優、青柳樹里、伊東真登、吉田里桜
渡部有咲、柳川黎弥、伊藤実優、田谷夏妃
増子幸希、矢澤柚菜
3年：佐藤美咲、伊東 新、鈴木遼介、間日菜乃
松崎颯志、柳沼柚羽、橋井はるか、宮田真由



今回は、3年生の佐藤さんと橋井さんに支部大会を終えての想いを書いてもらいました。【裏面へ】

県南支部大会を終えて…

今回の大会では銀賞をいただくことができました。目標にしていた「金賞」には届きませんでしたが、練習の成果を発揮することができました。今年は、例年より早く日にちが設定されていて、約2ヶ月で曲を仕上げました。厳しい練習もありましたが、皆で支え合うことができたため、良い思い出になりました。今回の大会のおかげで反省点も見つかったので、次回の大会に生かし今回よりも上を目指したいです。応援ありがとうございました。(3年：佐藤美咲)

今回の県南支部大会で“金賞”という目標が達成できるよう練習してきました。加藤先生や講師の先生に楽器や演奏面だけでなく、人としてやるべきことなども教えていただき、少しずつ成長することができました。大会後のミーティングで、私は、やるべきことを継続して行わなかったことが演奏に出てしまったと反省しました。自分の楽器や役割に責任をもち、表現豊かに演奏できるような練習を続けていきたいです。また、今の吹奏楽部に足りないことは、団結力、協力性です。今回の結果になったのも一人ひとりが声をかけ合えず、まとめることができなかったことがひとつの原因だと反省しました。3年生は10月まで活動できるので、反省したことを無駄にせず、変わっていきできるようにしたいです。また、日頃から支えてくださっている方々への感謝も忘れず、合奏祭では部員全員で団結して演奏を楽しんで終われるようにしたいです。そのために、互いに支え合い、基礎がしっかりできるよう日々頑張っていきます。応援ありがとうございました。(3年：橋井はるか)

音楽には素晴らしい力があります。音楽は人の心を癒やしたり、希望を与えたり、勇気づけたり、感動を与えてくれたりします。また、音楽は世界共通であることも凄い点です。だからこそ、音楽を奏でる者は演奏に“心”や“気持ち”を込めることが大切ではないかと思います。演奏する者の心が聴く者の心を揺さぶる、それが実現できれば、きっと素晴らしい何かが生み出されていくことでしょう。どうか“音楽の力”を信じ、誇りを持って演奏してほしいと思います。～次の記事も音楽つながりとなります。

伝統音楽に親しむことができました！

音楽科の授業では、日本の伝統音楽に親しむために和楽器の演奏を表現活動に取り入れています。今年度も須賀川市の『桐音会』で箏教室を行っている後藤礼子さん、他2名の講師の方々をお招きし、箏の学習を1年生で実施しました。(各クラス1時間)「箏」「三弦」「十七弦」の3つの楽器を合わせて、日本の伝統音楽の普及に努めた宮城道雄氏の「春の海」を演奏することを目指しました。生徒達は、講師の先生方の指導を受けながら、自分が選んだ楽器の演奏の練習に取り組みました。小学校時代にも箏の学習を経験しており、初めの段階からいい音を出せる生徒が多かったようです。講師の先生からもお褒めの言葉をいただきました。そして、「春の海」を全員で合わせて演奏しました。短時間の練習でしたが、まとまりのあるきれいな演奏ができました。最後は、講師の先生方の模範演奏でした。宮城道雄氏の「祭りの太鼓」という曲で、3人揃っての速弾きが圧巻でした。生徒達も演奏に聴き入っていました。また、後藤さんからは宮城道雄氏の生涯についてもお話があり、表現活動だけでなく知識の面でもとても有益な学習となりました。1時間という短い時間でしたが、伝統音楽に親しむことができた密度の濃い時間を過ごすことができました。



今、注意 すべきこと

最近、体調をくずして欠席したり、体調不良を訴え保健室に来たりする生徒が増えています。最近の気候は蒸し暑さが増してきています。その影響なのでしょう。

夏バテという言葉がありますが、簡単に夏バテと言うと、「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」「寝不足」などといった夏の暑さによる体調不良の総称です。夏バテを予防するために大切な3つのポイントです。

1つ目は、「温度差、体の冷やしすぎに注意すること」です。室内外の温度差が5度以上になると、自律神経が乱れやすくなります。また、冷たい飲み物は胃腸に負担をかけ、不調の原因となってしまうので注意が必要です。**2つ目は、「生活リズムを整え、質の良い睡眠をとること」です。**規則正しい生活と適度な運動を心がけ、生活のリズムを保ちましょう。**3つ目は、「栄養バランスの良い食事、こまめな水分補給をすること」です。**暑さで疲れやすく、汗でミネラルを失いやすいため、十分な栄養補給を心がけていきましょう。夏休みまで授業日はあと7日です。万全な体調で夏休みを迎えられるようにしましょう。